

## IV. 推薦入学試験要項

### 1 募集人員

#### 1 部 (昼間部)

(人)

学部・学科／コース		公 募	指定校	
経済学部 (経済・地域経済) ※1 ※2		43	30	
経営学部	経営学科	—	普通科系 22 商業科系 4	
	経営情報学科	—	普通科系 16 商業科系 6	
法学部 (法律・政治) ※1		—	60	
人文学部	日本文化学科	10	15	
	英米文化学科	10	15	
工学部	社会環境 工 学 科	社会環境コース	3	9
		環境情報コース	3	5
	建築学科	—	29	
	電子情報工学科	4 専門教育を 主とする学科 <sup>2</sup>	10	
	生命工学科	4	16	

#### 2 部 (夜間部)

(人)

学部・学科		公 募	指定校
経済学部 (経済・地域経済) ※1		36	—
経営学部	経営学科	30	—
法学部 (法律・政治) ※1		—	20
人文学部	日本文化学科	10	—
	英米文化学科	8	—

※1 経済学部・法学部は「学部」単位での募集になります。学科は1年次末に決定します。

※2 経済学部指定校推薦で入学した学生は、2年次以降、地域経済学科に所属します。

## 2 公募推薦〔出願資格・選抜方法〕

本学の推薦入学試験はすべて「専願制」です。各詳細は学部・学科・コース別推薦入学試験案内を参照してください。

学部・学科／コース	出願資格 次の要件にすべて該当し、出身高等学校長の推薦がある者	選抜方法			
		書類審査	志望理由書	筆記試験	面接
*経済学部1部 (経済・地域経済)  (1校2名の推薦)	(1) 経済学部1部への入学を希望する者で、向学心に富む者 (2) 「全体の評定平均値」が3.5以上の者	○	○	小論文	
*経済学部2部 (経済・地域経済)  (高等学校からの推薦人数制限は特に設けません)	「全体の評定平均値」が3.2以上の者 ※卒業見込みの者に加え、卒業後2年以内の者を含む	○	○	小論文	
経営学部  2部 経営学科 (高等学校からの推薦人数制限は特に設けません)	(1) 「全体の評定平均値」が3.2以上の者 ※卒業見込みの者に加え、卒業後2年以内の者を含む (2) 出席日数が、「出席しなければならない日数」の90%以上の者	○	○	小論文	
人文学部  1部 日本文化学科 1部 英米文化学科 (各学科1校1名の推薦)	(1) 高等学校の成績が優秀で、日本文化または英米文化に関心を持ち、向学心に富んでいる者 (2) 「全体の評定平均値」が3.8以上の者で、さらに、日本文化学科にあつては以下の要件を満たす者 ・国語の評定平均値が4.0以上の者 英米文化学科にあつては以下のいずれか1つの要件を満たす者 ・英語の評定平均値が4.0以上の者 ・実用英語技能検定(日本英語検定協会実施)2級以上の資格を有する者 以下の要件については、2年以内に受験したものに限り、 ・GTEC for STUDENTS 550点以上(GTEC CBT 800点以上)を有する者 ・ケンブリッジ英検140点以上を有する者 ・IELTS 4.0以上を有する者 ・TEAP 230点以上を有する者 ・TOEFL iBT 60点以上を有する者 ・TOEIC/TOEIC S&W 790点以上を有する者	○	○	小論文	○
2部 日本文化学科 2部 英米文化学科 (高等学校からの人数制限は特に設けません)	(1) 高等学校の成績が優秀で、日本文化または英米文化に関心を持ち、向学心に富んでいる者 (2) 「全体の評定平均値」が3.0以上の者	○	○	小論文	○

\*経済学部は「学部」単位での募集になります。学科は1年次末に決定します。

学部・学科／コース		出願資格 次の要件にすべて該当し、出身高等学校長の推薦がある者	選抜方法				
			書類審査	志望理由書	筆記試験	面接	
工学部	社会環境工学科	社会環境コース (1校から複数名可)	●「普通科」、「理数科」、「総合学科」の者 「全体の評定平均値」が3.5以上で、かつ「数学」と「理科」に関する科目の評定の合計数を科目数で除した評定平均値（小数点以下第2位四捨五入）が3.5以上の者 ただし、「数学」（「数学Ⅰ」と「数学Ⅱ」を含む）10単位以上、および「理科」8単位以上を修得または修得見込みの者 ●専門教育を主とする学科（「土木系」、「建設系」、「農業土木系」などの社会基盤関連学科）の者 「全体の評定平均値」が3.5以上で、かつ「数学」7単位以上（「工業数理基礎」を含むことができる）および「理科」4単位以上を修得または修得見込みの者	○	○	小論文	○
		環境情報コース (1校から複数名可)	●「普通科」、「理数科」、「総合学科」の者 「全体の評定平均値」が3.5以上で、かつ「数学」と「理科」に関する科目の評定の合計数を科目数で除した評定平均値（小数点以下第2位四捨五入）が3.5以上の者 ただし、「数学」（「数学Ⅰ」と「数学Ⅱ」を含む）10単位以上、および「理科」8単位以上を修得または修得見込みの者 ●専門教育を主とする学科 「全体の評定平均値」が3.5以上で、かつ「数学」7単位以上（「工業数理基礎」を含むことができる）および「理科」4単位以上を修得または修得見込みの者	○	○	小論文	○
	電子情報工学科 (各学科から複数名の推薦可)	●「普通科」、「理数科」、「総合学科」の者 「全体の評定平均値」が3.5以上で、かつ「数学」と「理科」のそれぞれの評定平均値が3.7以上の者 ただし、「数学」9単位以上および「理科」（「物理基礎」または「理数物理」を含む）5単位以上を修得または修得見込みの者 ●専門教育を主とする学科（「電気科」、「電子科」、「情報技術科」など）の者 「全体の評定平均値」が3.5以上で、かつ「専門教育に関する教科」の評定平均値が3.7以上の者 ただし、「数学」（「工業数理基礎」を含むことができる）9単位以上および「理科」（「物理基礎」を含む）5単位以上を修得または修得見込みの者	○	○	小論文	○	
	生命工学科 (1校から複数名可)	●「普通科」、「理数科」、「総合学科」の者 「全体の評定平均値」が3.5以上で、かつ「数学」と「理科」のそれぞれの評定平均値が3.5以上の者 ただし、「数学」9単位以上および「理科」5単位以上を修得または修得見込みの者 ●専門教育を主とする学科の者 「全体の評定平均値」が3.5以上の者で、かつ「専門教育に関する教科」の評定平均値が3.5以上の者 ただし、「数学」9単位以上（「工業数理基礎」を含むことができる）および「理科」5単位以上を修得または修得見込みの者	○	○	小論文	○	

### 3 指定校推薦〔出願資格・選抜方法〕

本学の推薦入学試験はすべて「専願制」です。各詳細は学部・学科・コース別推薦入学試験案内を参照してください。

学部・学科／コース		出願資格 出願年度に高等学校を卒業見込みの者	選抜方法			
			書類審査	事前提出作文	志望理由書	面接
経済学部 1部 (2年次以降 地域経済学科に所属)  (本学が指定した高等学校 から1名の推薦)		(1) 経済・社会への問題意識が高く、将来北海道地域の発展に寄与する意欲を持ち、経済学部1部地域経済学科への入学を希望する者 (2) 「全体の評定平均値」が3.8以上である者	○		○	○
IV 推薦入学試験	普通科系 1部 経営学科 1部 経営情報学科 (本学が指定した 高等学校から 指定人数の推薦)	本学が指定した高等学校の生徒であって、本学部の推薦要件を満たす者 推薦要件については、指定した高等学校にお知らせします。	○		○	○
	経営学部 商業科系 1部 経営学科 1部 経営情報学科  (本学が指定した 高等学校から 指定人数の推薦)	次の(1)～(3)の要件にすべて該当する者 (1) 「全体の評定平均値」が4.0以上である者 (2) (公財)全国商業高等学校協会(全商)が実施する各種検定試験1級(簿記〔会計〕、簿記〔原価計算〕、情報処理〔プログラミング部門〕、情報処理〔ビジネス情報部門〕、ビジネス文書、商業経済、珠算・電卓、英語)ならびに日本商工会議所(日商)が実施する簿記検定試験2級以上、日本英語検定協会が実施する実用英語検定2級以上、GTEC for STUDENTS 520点(グレード5)以上において、次の①から④のいずれかに該当する者 ①出願時に3種目以上合格している者。3種目の組み合わせは問いません ②日商簿記2級、全商簿記1級〔会計〕、情報処理1級〔プログラミング部門〕、商業経済1級のうち、どれか一つを取得している場合は、出願時に2種目以上合格している者。ただし、全商簿記1級〔会計のみ合格〕と日商簿記2級との組み合わせ、または全商簿記1級〔原価計算のみ合格〕と日商簿記2級との組み合わせは認めません。 ③日商簿記1級を取得している者 ④全商簿記実務検定(会計・原価計算)1級を取得している者 (3) 出席日数が「出席しなければならない日数」の95%以上の者	○		○	○
*法学部 1部 (法律・政治)  (本学が指定した 高等学校から 指定人数の推薦)		本学が指定した高等学校の生徒であって、本学部の推薦要件を満たす者 推薦要件については、指定した高等学校にお知らせします。	○	○		○
*法学部 2部 (法律・政治)  (本学が指定した 高等学校から 指定人数の推薦)		本学が指定した高等学校の生徒であって、本学部の推薦要件を満たす者 推薦要件については、指定した高等学校にお知らせします。	○	○		○
人文学部	1部 日本文化学科  (本学が指定した高等学校 から1名の推薦)	本学が指定した高等学校の生徒であって、本学部の推薦要件を満たす者 推薦要件については、指定した高等学校にお知らせします。	○		○	○
	1部 英米文化学科  (本学が指定した高等学校 から1名の推薦)	本学が指定した高等学校の生徒であって、本学部の推薦要件を満たす者 推薦要件については、指定した高等学校にお知らせします。	○		○	○

\*法学部は「学部」単位での募集になります。学科は1年次末に決定します。

学部・学科／コース		出願資格 出願年度に高等学校を卒業見込みの者	選抜方法				
			書類審査	事前提出作文	志望理由書	面接	
工 学 部	社会環境工学 科	<p>社会環境コース</p> <p>(本学が指定した高等学校から2コース合わせて3名以下の推薦)</p> <p>環境情報コース</p>	<p>●「普通科」、「理数科」、「総合学科」の者 「全体の評定平均値」が3.5以上で、かつ「数学」と「理科」に関する科目の評定の合計数を科目数で除した評定平均値(小数点以下第2位四捨五入)が3.5以上の者。ただし、「数学」(「数学Ⅰ」と「数学Ⅱ」を含む)10単位以上および「理科」8単位以上を修得または修得見込みの者</p> <p>●専門教育を主とする学科(「土木系」、「建設系」、「農業土木系」等の社会基盤関連学科)の者 「全体の評定平均値」が3.5以上で、かつ「数学」7単位以上(「工業数理基礎」を含むことができる)および「理科」4単位以上を修得または修得見込みの者</p>	○		○	○
		<p>●「普通科」、「理数科」、「総合学科」の者 「全体の評定平均値」が3.5以上で、かつ「数学」と「理科」に関する科目の評定の合計数を科目数で除した評定平均値(小数点以下第2位四捨五入)が3.5以上の者。ただし、「数学」(「数学Ⅰ」と「数学Ⅱ」を含む)10単位以上および「理科」8単位以上を修得または修得見込みの者</p> <p>●専門教育を主とする学科の者 「全体の評定平均値」が3.5以上で、かつ「数学」7単位以上(「工業数理基礎」を含むことができる)および「理科」4単位以上を修得または修得見込みの者</p>	○		○	○	
		<p>●「普通科」、「理数科」、「総合学科」に在学、または『専門教育を主とする学科(「建築科」、「建設科」)』に在学の者 「全体の評定平均値」が3.5以上の者</p>	○	○		○	
		<p>●「普通科」、「理数科」、「総合学科」の者 「全体の評定平均値」が3.5以上で、かつ「数学」と「理科」のそれぞれの評定平均値が3.7以上の者。ただし、「数学」9単位以上および「理科」(「物理基礎」または「理数物理」を含む)5単位以上を修得または修得見込みの者</p> <p>●専門教育を主とする学科(「電気科」、「電子科」、「情報技術科」など)の者 「全体の評定平均値」が3.5以上で、かつ「専門教育に関する教科」の評定平均値が3.7以上の者。ただし、「数学」(「工業数理基礎」を含むことができる)9単位以上および「理科」(「物理基礎」を含む)5単位以上を修得または修得見込みの者</p>	○		○	○	
		<p>●「普通科」、「理数科」、「総合学科」の者 「全体の評定平均値」が3.5以上で、かつ「数学」と「理科」のそれぞれの評定平均値が3.5以上の者。ただし、「数学」9単位以上および「理科」5単位以上を修得または修得見込みの者</p> <p>●専門教育を主とする学科の者 「全体の評定平均値」が3.5以上で、かつ「専門教育に関する教科」の評定平均値が3.5以上の者。ただし、「数学」9単位以上(「工業数理基礎」を含むことができる)および「理科」5単位以上を修得または修得見込みの者</p>	○		○	○	

## 4 推薦入試日程等一覧

学部	*経済学部			経営学部			*法学部	人文学部			工学部					
学科	1部 (地域経済)	1部 (経済・地域経済)	2部 (経済・地域経済)	1部 経営情報学科	1部 経営情報学科	2部 経営学科	1部 2部 (法律・政治)	1部 1部 日本文学化学科	2部 2部 日本文学化学科	1部 1部 日本文学化学科	社会工	環境学	環境科	建築学科	電子情報工学科	生命工学科
科目											社会環境コース	環境情報コース				
制度	指定校制	公募制	公募制	指定校制 (普通科系)	指定校制 (商業科系)	公募制	指定校制	公募制	公募制	指定校制	指定校制	公募制	指定校制	指定校制	公募制	指定校制
試験内容	面接	小論文	小論文	面接	面接	小論文	面接	面接 小論文	面接 小論文	面接	面接 小論文 (公募制のみ)	面接 小論文 (公募制のみ)	面接	面接 小論文 (公募制のみ)	面接 小論文 (公募制のみ)	
出願期間	平成28年11月1日(火)～〔郵送〕11月10日(木)消印有効 〔窓口〕11月11日(金)午後4時締切 ※日曜・祝日は窓口受付は行いません。															
受験票 発送日	平成28年11月18日(金)前後に郵送します															
試験日	平成28年11月27日(日)															
試験時間	各自受験票記載															
試験地	北海学園大学 豊平校舎 (所在地) 札幌市豊平区旭町4丁目1番40号 TEL 011-841-1161(代) ※試験場案内図は66頁参照															
合格発表	平成28年12月9日(金)午前10時(北海学園大学 豊平校舎)															
入学手続 期間	(納入金) 平成28年12月9日(金)～12月26日(月) (手続書類) 平成29年2月24日(金)～3月10日(金)															

- \*経済学部・法学部は「学部」単位での募集になります。学科は1年次末に決定します(経済学部1部指定校制を除く)。  
○面接は個人面接を原則としていますが、志願者数によってはグループ面接になる場合があります。また、経営学部1部指定校制は集団面接となります。なお、面接時間は15分から20分程度を予定しています。  
○試験時間(各自受験票記載)の15分前までに会場案内図での指示に従って着席してください。

# 5 出願書類

学部	*経済学部			経営学部			*法学部	人文学部				工学部			
	1部 (地域経済)	1部 (経済・地域経済)	2部 (経済・地域経済)	1部 経営情報学科	1部 経営情報学科	2部 経営学科	1部 2部 (法律・政治)	1部 1部 英文文化学科 日本文化学科	2部 2部 英文文化学科 日本文化学科	1部 1部 英文文化学科 日本文化学科	社会 学	環境 科	建築 学科	電子 情報 工学科	生命 工学科
学 科 一 科 ス											社会 環境 コース	環境 情報 コース			
制度	指定校制	公募制	公募制	指定校制 (普通科系)	指定校制 (商業科系)	公募制	指定校制	公募制	公募制	指定校制	指定校制	公募制	指定校制	公募制	指定校制
出願書類															
入学願書 (特別入試用)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
調査書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
高等学校長 推薦書 (様式1)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
志望理由書 (様式6)	○	○	○	○	○	○					○	○		○	○
事前提出作文 (様式6)							○						○		
各種資格 等証明書				英検準1級以上の 資格のある場合 (40頁参照)	41頁参照			43頁参照							
写 真	○	○	○	○	○ (様式2)	○	○	○ (様式2)	○	○	○	○	○	○	○
注意事項	<p><b>入学願書 (特別入試用)</b> 特別入試用の願書を使用し、「入学願書記入上の注意および記入例」(巻末)を参照し、記載事項すべてについて記入してください。</p> <p><b>調査書</b> 出身高等学校の所定様式で、学校長が証明し厳封したもの(詳細に記入してください)。</p> <p><b>高等学校長推薦書 (様式1)</b> 本学所定の用紙(巻末)に高等学校長が記入し厳封したもの(詳細に記入してください)。</p> <p><b>志望理由書・事前提出作文 (様式6)</b> 各学部・学科/コースの推薦入学試験案内の指示に従い、本学所定の用紙(巻末)に記入のうえ提出してください。</p> <p><b>各種資格等証明書</b> 出願資格を証明する合格証明書または合格証の写し(なお、合格証の写しを提出する場合は、それらに誤りのないことを証明する旨の高等学校長の文書を添付してください)。</p> <p><b>写 真</b> 写真は、正面、上半身、無帽、背景のないもの(カラー・白黒でも可)で縦3cm×横3cm出願前3カ月以内に撮影したものを1枚、入学願書の写真欄の枠内に収まるように貼付してください。</p>														

\* 経済学部・法学部は「学部」単位での募集になります。学科は1年次末に決定します(経済学部1部指定校制を除く)。

○本学所定の用紙は、巻末に添付されています。

○詳細は、11学部・学科・コース別推薦入学試験案内を参照し、内容を十分理解したうえ提出書類を作成してください。

## 6 入学検定料の振込・出願上の注意について

6 頁を参照して手続きを行って下さい。

## 7 出願方法と送付先

- (1) 出願書類は、本学所定の封筒（特別入試用）を用いて、「速達簡易書留」で郵送してください。なお、封入の際には、封筒裏面のチェックシートで提出書類を確認してください。  
日本国外から願書を郵送する場合は、窓口締切日必着とします。
- (2) 出願書類送付先  
〒062-8605 札幌市豊平区旭町4丁目1番40号 北海学園大学 入試部入試課

## 8 受験上の注意

- (1) 試験会場は本学の豊平校舎となります。
- (2) 試験日前日に校舎の位置確認はできますが、校舎内の下見はできません。
- (3) 学部・学科・コースにより選考の所要時間が異なりますので、昼食は必要に応じて各自持参してください。
- (4) 試験場の開門は午前8時30分です。
- (5) 試験日当日、受験票を忘れた方は直ちに入試課で再発行の手続きをしてください。
- (6) 小論文の受験者は、HBの鉛筆・シャープペンシル、消しゴムを持参してください。また、時計については計時機能だけのものに限りません。(試験場には時計はありません)
- (7) 携帯電話およびこれに類するものを試験場に持ち込まれる場合は、電源を切りカバンの中に入れてください。
- (8) 受験票は必ず持ち帰り保管してください。
- (9) 上履きは不要です。

## 9 合格発表

- (1) 合格発表日については、**4**推薦入試日程等一覧(35頁)を参照してください。
- (2) 合格者には発表と同時に合格通知書と入学手続書類を速達便で郵送します。  
また、高等学校長宛にも文書で通知いたします。
- (3) 不合格者には、試験結果通知書を速達便で郵送します。
- (4) 可否について、電話等での問い合わせには、一切応じません。

◎本学の推薦入学試験において合格と認定された者が、合格通知後、高等学校卒業までに推薦の要件を欠くに至った場合は、合格を取り消すことがあります。

◎この試験については成績開示をしませんので、試験結果についての確認・問い合わせには一切応じません。

### インターネットによる入試合格案内について

正式な合格発表は、大学構内の所定掲示板の公示、および本人宛てに郵送する通知によるものとしますが、受験生の便宜を考慮し、補助的な手段として本学ホームページの「入学案内」に、合格者受験番号一覧を掲載します。

なお、掲載期間は、合格発表日よりおおむね1週間とします。

「入学案内」のアドレス <http://hgu.jp/admission/>

## 10 入学手続

- (1) 入学手続期間  
納入金 平成28年12月9日(金)～12月26日(月)(入学金と授業料等の納入)  
手続書類 平成29年2月24日(金)～3月10日(金)(入学手続書類の提出)  
それぞれの期限までに所定の入学手続を行わない場合には、入学を認めません。特別な事情で授業料等の納入延期を希望する場合は、入試課にお問い合わせください。
- (2) 提出する手続書類等  
①学生カード ②写真2枚(縦3cm×横3cm)  
③事項届 ④学生・学費支給者・保証人住所届  
⑤卒業証明書(平成29年3月卒業生のみ)  
⑥調査書(高等学校長が最終学年終了時で作成し、厳封したもの。平成29年3月卒業生のみ)

以上の書類を入学手続期間内に、郵送(締切日必着)もしくは本学各学部事務室に持参してください。



# 11 学部・学科・コース別 推薦入学試験案内

## ■経済学部 1部 (経済学科・地域経済学科) (公募制)

### 〔1〕趣 旨

受験機会の多様化、北海道の地域社会の活性化に資する人材の育成といった要請に応えるべく、本学経済学部(1部)では公募推薦を実施します。

※「学部」単位での募集になります。学科(経済・地域経済)は1年次末に決定します。

### 〔2〕募集人員

1部 経済学部 43名(1高等学校から2名の推薦)

### 〔3〕出願資格

次の要件にすべて該当し、高等学校長の推薦がある者

- (1) 本学経済学部1部への入学を希望する者で、向学心に富み、出願する年度に高等学校を卒業する見込みの者
- (2) 高等学校在学期間中、勉学や課外活動を通じて、充実した高校生活を過ごしたと認められる者
- (3) 「全体の評定平均値」が3.5以上の者

### 〔4〕選抜方法

#### (1) 書類審査

- ① 入学願書(特別入試・併設校推薦入試用) 本学所定の様式に記入し、提出してください。
- ② 調査書 高等学校長が作成したもので、厳封したもの。
- ③ 推薦書 本学所定の様式に高等学校長が記入した推薦書で、厳封したもの。
- ④ 志望理由書 出願にあたって、本学所定の「志望理由書」を用いて、以下の2つのテーマについてそれぞれ500~600字で書き、提出してください。記入の方法については、用紙の裏面を参照してください。
  - (a) 経済学部1部を志望した理由
  - (b) 入学後の抱負

#### (2) 小論文

最近の社会問題に関する資料をもとにした記述・論述(合計600~1,000字程度:60分)。

### 〔5〕配 点

- (1) 小論文 (50点満点)
- (2) 書類選考 (全体の評定平均値、志望理由書、推薦書、調査書の特記事項などによる評価:50点満点)

### 〔6〕その他

- (1) 本推薦入学試験において合格と認定された者が、合格通知後、高等学校卒業までに推薦要件を欠くに至った場合には、合格を取り消すことがあります。
- (2) 上記選抜方法により可否を判定します。判定結果については、高等学校にお知らせします。
- (3) 合格者には、課題図書を読んでレポートを提出してもらうなどのブレ教育を行います。

## ■経済学部 2部 (経済学科・地域経済学科) (公募制)

### 〔1〕趣 旨

北海道の地域社会の活性化に資する人材を育成するために、質の高い大学教育を幅広く提供することを目指し、公募推薦を実施します。

※「学部」単位での募集になります。学科(経済・地域経済)は1年次末に決定します。

### 〔2〕募集人員

2部 経済学部 36名(高等学校からの推薦人数制限は特に設けません)

### 〔3〕出願資格

次の要件にすべて該当し、高等学校長の推薦がある者

- (1) 出願する年度に高等学校卒業見込みの者、あるいは出願時に高等学校卒業後2年以内の者
- (2) 高等学校在学期間中、例えば勉学や課外活動を通じて、充実した高校生活を過ごしたと認められる者
- (3) 「全体の評定平均値」が3.2以上の者

### 〔4〕選抜方法

#### (1) 書類審査

- ① 入学願書(特別入試・併設校推薦入試用) 本学所定の様式に記入し、提出してください。
- ② 調査書 高等学校長が作成したもので、厳封したもの。
- ③ 推薦書 本学所定の様式に高等学校長が記入した推薦書で、厳封したもの。
- ④ 志望理由書 出願にあたって、本学所定の「志望理由書」を用いて、以下の2つのテーマについてそれぞれ500~600字で書き、提出してください。記入の方法については、用紙の裏面を参照してください。
  - (a) 経済学部2部を志望した理由
  - (b) 入学後の抱負

#### (2) 小論文

最近の社会全般に関する複数のテーマの中から一つを選択(600~1,000字程度:60分)。

### 〔5〕配 点

- (1) 小論文 (50点満点)
- (2) 書類選考 (全体の評定平均値、志望理由書、推薦書、調査書の特記事項などによる評価:50点満点)

## 〔6〕その他

- (1) 本推薦入学試験において合格と認定された者が、合格通知後、高等学校卒業までに推薦要件を欠くに至った場合には、合格を取り消すことがあります。
- (2) 上記選抜方法により合否を判定します。判定結果につきましては、高等学校にお知らせします。
- (3) 合格者には、課題図書を読んでレポートを提出してもらうなどのプレ教育を行います。

---

## ■経済学部 1部 (地域経済学科) (指定校制)

### 〔1〕趣 旨

北海道を中心とした地域経済の活性化を担う人材を育成することを目的に、経済・社会への問題意識が高く、学習意欲に富み、将来地域社会の発展に寄与する意欲と力をそなえた生徒を、本学が指定した全道の高等学校から受け入れるために指定校推薦入試を行います。

### 〔2〕募集人員

1部 (地域経済学科) 30名 (本学が指定した高等学校から1名の推薦)  
ただし、指定校からの出願数に変動がありますので、実際の受け入れ数はこれと異なることがあります。  
地域経済学科への所属は2年次からとなります。

### 〔3〕出願資格

本学が指定した高等学校の生徒であって、次の要件にすべて該当し、高等学校長の推薦がある者

- (1) 経済・社会への問題意識が高く、将来北海道地域の発展に寄与する意欲を持ち、本学経済学部1部(地域経済学科)への入学を希望する者で、出願する年度に高等学校を卒業する見込みの者
- (2) 高等学校在学期間中、勉学や課外活動を通じて、充実した高校生活を過ごしたと認められる者
- (3) 「全体の評定平均値」が3.8以上の者

### 〔4〕選抜方法

書類審査と面接による選考のうえ判定します。

### 〔5〕出願書類

- (1) 入学願書(特別入試・併設校推薦入試用)  
入学願書には、「入学願書記入上の注意および記入例」を参照して、間違いなく記載事項のすべてについて記入し、写真欄に出願者の写真を貼ってください。写真は、出願前3カ月以内に撮影した単身、正面、上半身、無帽、背景なしで、サイズは縦3cm×横3cmのものであります。
- (2) 調査書  
出願前3カ月以内に高等学校長が作成し、厳封したものに限りします。
- (3) 推薦書  
高等学校長が本学指定の様式に記入し、厳封したものに限りします。
- (4) 志望理由書  
出願にあたって、巻末の指定原稿用紙を用いて、以下の2つのテーマについてそれぞれ400字程度の志望理由書の提出を求めます。
  - (a) 経済学部1部(地域経済学科)を志望した理由、および入学後の抱負
  - (b) 高校生活において、授業・課外活動や新聞・テレビ等のメディアや様々な自己の体験を通じて、特に関心をもった社会・経済や地域の問題に関する意見

### 〔6〕その他

- (1) 上記選抜方法により合否判定しますが、著しく不相当とみなされない限り合格とします。不合格と判定した場合には、その理由を受験生および高等学校にお知らせします。
  - (2) 本推薦入学試験において合格と認定された者が、合格通知後、高等学校卒業までに推薦の要件を欠くに至った場合には、合格を取り消すことがあります。
  - (3) 本推薦入学試験において合格と認定された者が、入学手続きをしないか入学を辞退した場合、推薦依頼をとりやめることがあります。
  - (4) 本推薦入学試験において入学した者の成績が芳しくない場合、指定校の見直しをする場合があります。
  - (5) 合格者には、課題図書を読んでレポートを提出してもらうなどのプレ教育を行います。
- ※ (3) (4) のいずれの場合にも、詳細については、指定校宛に通知・連絡いたします。

---

## ■経営学部 2部 経営学科 (公募制)

### 〔1〕趣 旨

北海道の地域社会の活性化に資する経営的センスと能力をもつ人材を育成するために、質の高い大学教育を幅広く提供することを目指し、公募推薦を実施します。

### 〔2〕募集人員

2部 経営学科 30名 (高等学校からの推薦人数制限は特に設けません)

### 〔3〕出願資格

次の要件にすべて該当し、高等学校長の推薦がある者

- (1) 出願する年度に高等学校卒業見込みの者、あるいは出願時に高等学校卒業後2年以内の者
- (2) 高等学校在学期間中、例えば勉学や課外活動を通じて、充実した高校生活を過ごしたと認められる者
- (3) 「全体の評定平均値」が3.2以上の者
- (4) 出席日数が、「出席しなければならない日数」の90%以上の者

#### 〔4〕選抜方法

##### (1) 書類審査

- ①入学願書（特別入試・併設校推薦入試用） 本学所定の様式に記入し、提出すること。
- ②調査書 高等学校長が作成したもので、厳封したもの。
- ③推薦書 本学所定の様式に高等学校長が記入した推薦書で、厳封したもの。
- ④志望理由書 本学所定の「志望理由書」用紙に、本学部・学科を志望した理由および入学後の抱負について、合わせて400字程度で書いてください。記入の方法については、用紙の裏面を参照のこと。

##### (2) 小論文

最近の社会全般に関する複数のテーマの中から一つを選択（600～800字：60分）。

#### 〔5〕配点

- (1) 小論文 （50点満点）
- (2) 書類選考（全体の評定平均値、志望理由書、推薦書、調査書の特記事項などによる評価：50点満点）

#### 〔6〕その他

- (1) 本推薦入学試験において合格と認定された者が、合格通知後、高等学校卒業までに推薦要件を欠くに至った場合には、合格を取り消すことがあります。
- (2) 上記選抜方法により合否を判定します。判定結果につきましては、高等学校にお知らせします。
- (3) 合格者には、入学までの期間にプレ教育を実施することがあります。

### ■経営学部 1部 経営学科・経営情報学科（普通科系指定校制）

#### 〔1〕趣旨

本推薦試験は、大学受験機会の多様化という時代の要請に伴い、入試における学力偏重の弊害を改め、経営あるいは経営情報に興味を持ち、充実した高校生活を送ってきた生徒を本学指定の高等学校から推薦してもらうものです。

#### 〔2〕募集人員

- 1部 経営学科 22名（本学が指定した高等学校から指定した人数）  
1部 経営情報学科 16名（本学が指定した高等学校から指定した人数）  
ただし、指定校からの出願数に変動がありますので、実際の受入数はこれと異なることがあります。

#### 〔3〕出願資格

本学が指定した高等学校の生徒であって、本学部の推薦要件に該当し、高等学校長の推薦がある者。推薦要件については、指定した高等学校にお知らせします。

#### 〔4〕選抜方法

##### (1) 書類審査

- ①入学願書（特別入試・併設校推薦入試用） 本学所定の様式に記入し、提出すること。
- ②調査書 高等学校長が作成したもので、厳封したもの。
- ③推薦書 本学所定の様式に高等学校長が記入した推薦書で、厳封したもの。
- ④志望理由書  
次の2つのテーマそれぞれについて所定の志望理由書にそれぞれ400字程度で書いてください。  
記入の方法については、用紙の裏面を参照してください。  
(a) 本学部・学科を志望した理由、および入学後の抱負。  
(b) 最近、新聞やテレビで報道されている経営、経済に関するニュースで、最も関心を持っていること。
- ⑤実用英語技能検定（日本英語検定協会 実施）準1級以上の資格要件で出願の場合は、準1級以上の合格を証明する書類（写しでも可）。なお、合格書の写しを提出する場合は、それらに誤りがないことを証明する旨の高等学校長の文書を添えてください。

##### (2) 面接

試験当日、集団面接を行います。

#### 〔5〕入学にあたっての留意点

- (1) 本推薦入学試験において合格と認定された者が入学手続きをしないか、入学を辞退した場合、または入学後退学するなど入学辞退に準ずる場合、次年度以降において高等学校に推薦の依頼を取りやめることがあります。
- (2) 本推薦入学試験において合格と認定された者が合格通知後、高等学校卒業までに推薦の要件を欠くに至った場合には、合格を取り消すことがあります。
- (3) 本推薦入学試験の入学者については、入学後の学生生活に関する個人情報を出身高等学校へ提供します。情報の利用目的、情報の提供先、提供する情報、提供の手段または方法は下記のとおりです。
  - ①情報の利用目的：大学と指定校との間の学生情報の共有と教育上の連携
  - ②情報の提供先：出身校の進路指導担当者
  - ③提供する個人情報：
    - ア) 氏名／学科／学年／在籍状況
    - イ) 学業成績表記載項目（修得単位／GPA／所属ゼミ）
    - ウ) 大学卒業後の進路
    - エ) 中途退学した場合にはその事実と事由
  - ④提供の手段または方法：原則として出身校に直接訪問し、口頭および書面にて状況を説明  
なお、入学後、本人からの申し出があれば、上記の提供を停止します。

#### 〔6〕その他

- (1) 上記選抜方法により合否を判定しますが、著しく不相当とみなされない限り合格とします。不合格と判定した場合には、その理由を受験生および高等学校にお知らせします。
- (2) 合格者には、入学までの期間にプレ教育を実施することがあります。

## ■経営学部 1部 経営学科・経営情報学科（商業科系指定校制）

### (1) 趣 旨

本推薦試験は、大学受験機会の多様化という時代の要請に伴い、入試における学力偏重の弊害を改め、経営あるいは経営情報に興味を持ち、充実した高校生活を送ってきた生徒を本学指定の高等学校から推薦してもらうものです。

### (2) 募集人員

1部 経営学科 4名（本学が指定した高等学校から指定した人数）  
 1部 経営情報学科 6名（本学が指定した高等学校から指定した人数）  
 ただし、指定校からの出願数に変動がありますので、実際の受入数はこれと異なることがあります。

### (3) 出願資格

本学が指定した高等学校の生徒であり、次の要件にすべて該当し、高等学校長の推薦がある者。

1. 本学経営学部1部（昼間部）の指定された学科への入学を希望する者で、向学心に富み、出願する年度に高等学校を卒業する見込みの者
2. 高等学校在学中、例えば勉学や課外活動を通じて、充実した高等学校生活を過ごしたと認められる者
3. 「全体の評定平均値」が4.0以上である者
4. (公財)全国商業高等学校協会（全商）が実施する各種検定試験1級（簿記〔会計〕、簿記〔原価計算〕、情報処理〔プログラミング部門〕、情報処理〔ビジネス情報部門〕、ビジネス文書、商業経済、珠算・電卓、英語）ならびに日本商工会議所（日商）が実施する簿記検定試験2級以上、日本英語検定協会が実施する実用英語技能検定2級以上、GTEC for STUDENTS 520点（グレード5）以上において、下の①から④のいずれかに該当する者
  - ①出願時に3種目以上合格している者。3種目の組み合わせは問いません
  - ②日商簿記2級、全商簿記1級〔会計〕、情報処理1級〔プログラミング部門〕、商業経済1級のうち、どれか一つを取得している場合は、出願時に2種目以上合格している者。ただし、全商簿記1級〔会計のみ合格〕と日商簿記2級との組み合わせ、または全商簿記1級〔原価計算のみ合格〕と日商簿記2級との組み合わせは認めません。
  - ③日商簿記1級を取得している者
  - ④全商簿記実務検定（会計・原価計算）1級を取得している者
5. 出席日数が「出席しなければならない日数」の95%以上の者

#### 【4の出願資格早見表】

以下の条件のうち、いずれかに該当する者

- ①下記の表の検定試験で3種目以上合格している者（組み合わせは問いません）
- ②※印の種目の一つ以上含む場合は2種目合格している者

日商試験	※簿記2級	注：全商簿記1級（会計・原価計算）との組み合わせは不可
全商試験 1級	※簿記（会計）	注：日商簿記2級との組み合わせは不可
	簿記（原価計算）	注：日商簿記2級との組み合わせは不可
	※情報処理（プログラミング部門）	
	情報処理（ビジネス情報部門）	
	ビジネス文書	
	※商業経済	
	珠算・電卓 英語	
実用英語技能検定	2級以上	
GTEC for STUDENTS	520点（グレード5）以上	

③及び④日商簿記検定1級、全商簿記実務検定（会計・原価計算）1級はそれのみで推薦基準を満たしているものとみなす

### (4) 選抜方法

#### (1) 書類審査

- ①入学願書（特別入試・併設校推薦入試用）本学所定の様式に記入し、提出すること。
- ②調査書 高等学校長が作成したもので、厳封したもの。
- ③推薦書 本学所定の様式に高等学校長が記入した推薦書で、厳封したもの。
- ④志望理由書 (a) 本学部・学科を志望した理由、および入学後の抱負について、(b) 最近、新聞やテレビで報道されている経営、経済に関するニュースで、最も関心を持っていることについて、所定の志望理由書にそれぞれ400字程度で書いてください。記入の方法については、用紙の裏面を参照のこと。
- ⑤各種試験証明書 全商検定試験1級、日商簿記検定試験2級、実用英語技能検定試験2級以上の合格証書の写し。全商1級、日商簿記2級、英検2級以上に合格したもの全てについて提出してください。なお、それらに誤りがないことを証明する旨の高等学校長の文書（本学所定の用紙・様式2）を添えてください。

#### (2) 面接

試験当日、集団面接を行います。

### (5) 入学にあたっての留意点

- (1) 本推薦入学試験において合格と認定された者が入学手続きをしないか、入学を辞退した場合、または入学後退学するなど入学辞退に準ずる場合、次年度以降において高等学校に推薦の依頼を取りやめることがあります。
- (2) 本推薦入学試験において合格と認定された者が合格通知後、高等学校卒業までに推薦の要件を欠くに至った場合には、合格を取り消すことがあります。
- (3) 本推薦入学試験の入学者については、入学後の学生生活に関する個人情報を出身高等学校へ提供します。情報の利用目的、情報の提供先、提供する情報、提供の手段または方法は下記のとおりです。

- ①情報の利用目的：大学と指定校との間の学生情報の共有と教育上の連携
- ②情報の提供先：出身校の進路指導担当者
- ③提供する個人情報：
  - ア) 氏名／学科／学年／在籍状況
  - イ) 学業成績表記載項目（修得単位／GPA／所属ゼミ）
  - ウ) 大学卒業後の進路
  - エ) 中途退学した場合にはその事実と事由
- ④提供の手段または方法：原則として出身校に直接訪問し、口頭および書面にて状況を説明  
なお、入学後、本人からの申し出があれば、上記の提供を停止します。

## 〔6〕その他

- (1) 上記選抜方法により可否を判定しますが、著しく不相当とみなされない限り合格とします。不合格と判定した場合には、その理由を受験生および高等学校にお知らせします。
- (2) 合格者には、入学までの期間にプレ教育を実施することがあります。

## ■法学部 1・2部（法律学科・政治学科）（指定校制）

### 〔1〕趣 旨

本推薦入学試験制度は、学業と学業以外の活動との調和のとれた優秀な生徒を選抜することを目的とし、本学指定の高等学校から、法律あるいは政治に興味をもち、充実した高校生活を過ごした生徒を推薦していただく入試制度です。

### 〔2〕募集人員

- 1部 法学部 60名（本学が指定した高等学校から指定した人数）
- 2部 法学部 20名（本学が指定した高等学校から指定した人数）
- ※「学部」単位での募集になります。学科（法律・政治）は1年次末に決定します。
- ただし、指定校からの出願数に変動がありますので、実際の受け入れ数はこれと異なることがあります。

### 〔3〕出願資格

#### 〔1部〕

本学が指定した高等学校の生徒であって、本学部の推薦要件に該当し、高等学校長の推薦がある者。  
推薦要件については、指定した高等学校にお知らせします。

#### 〔2部〕

本学が指定した高等学校の生徒であって、本学部の推薦要件に該当し、高等学校長の推薦がある者。  
推薦要件については、指定した高等学校にお知らせします。  
なお、専願制ですが、本学一般入学試験で法学部1部の受験を希望する者は、受験を認めます。

### 〔4〕選抜方法

- (1) 書類審査と面接による選考のうえ判定しますが、著しく不相当と認められないかぎり合格とします。  
不合格と判定した場合には、その理由を高等学校に通知・説明します。
- (2) 出願にあたって、他の書類とともに、出願者の作成した作文（1,000字程度）の提出を求めます。  
この作文は、巻末の指定原稿用紙を用いて作成してください。テーマは自由です。たとえば、大学生生活の抱負、現在興味をもっている社会問題、どのような高校生活を送ってきたかなど、自由な内容で書いてください。

### 〔5〕出願書類

- (1) 入学願書（特別入試・併設校推薦入試用）  
入学願書には、「入学願書記入上の注意および記入例」を参照して、間違いなく記載事項のすべてについて記入し、写真欄に出願者の写真を貼ってください。写真は、出願前3ヵ月以内に撮影した単身、正面、上半身、無帽、背景なしで、サイズは縦3cm×横3cmのもので（カラー・白黒でも可）。
- (2) 調査書  
出願前3ヵ月以内に高等学校長が作成し、厳封したものに限りです。
- (3) 推薦書  
高等学校長が本学所定の様式に記入し、厳封したものに限りです。
- (4) 本人が作成した作文（事前提出作文）  
巻末の指定原稿用紙を用いて作成してください。

### 〔6〕その他

- (1) 本推薦入学試験において合格と認定された者が、合格通知後、高等学校卒業までに出願資格の要件を欠くに至った場合は、入学を辞退していただくことがあります。
- (2) 判定結果につきましては、高等学校にお知らせします。

## ■人文学部 1・2部 日本文化学科・英米文化学科（公募制）

### 〔1〕趣 旨

この制度は、入試選抜制度の多様化の一環として、学業と学業以外の活動との調和のとれた優秀な生徒を選抜することを目的とします。

### 〔2〕募集人員

- |           |     |                           |
|-----------|-----|---------------------------|
| 1部 日本文化学科 | 10名 | } (各学科ごとに1高等学校から1名の推薦)    |
| 1部 英米文化学科 | 10名 |                           |
| 2部 日本文化学科 | 10名 | } (高等学校からの人数制限は特に設けていません) |
| 2部 英米文化学科 | 8名  |                           |

### 〔3〕出願資格（次の要件、すべてに該当する者）

#### 1部

- ①高等学校の成績が優秀で、日本文化または英米文化に関心を持ち、向学心に富んでいる者
- ②「全体の評定平均値」が3.8以上の者で、さらに、  
日本文化学科にあつては以下の要件を満たす者  
・国語の評定平均値が4.0以上の者  
英米文化学科にあつては以下のいずれか1つの要件を満たす者  
・英語の評定平均値が4.0以上の者  
・実用英語技能検定（日本英語検定協会実施）2級以上の資格を有する者  
以下の要件については、2年以内に受験したものに限ります。  
・GTEC for STUDENTS 550点以上（GTEC CBT 800点以上）を有する者  
・ケンブリッジ英検 140点以上を有する者  
・IELTS 4.0以上を有する者  
・TEAP 230点以上を有する者  
・TOEFL iBT 60点以上を有する者  
・TOEIC/TOEIC S&W 790点以上を有する者
- ③高等学校在学期間を通して積極的かつ主体的に体育・文化・文芸・技術・ボランティア活動など、あるいは生徒会・学級役員活動などを行い、校内外において充実した高校生活を過ごしたと認められ、高等学校長の推薦がある者で出願する年度に高等学校を卒業見込みの者  
ただし、単発的に学校内、学級内の行事に参加した活動などは除かれます。

#### 2部

- ①高等学校の成績が優秀で、日本文化または英米文化に関心を持ち、向学心に富んでいる者
- ②「全体の評定平均値」が3.0以上の者
- ③高等学校在学期間を通して積極的かつ主体的に体育・文化・文芸・技術・ボランティア活動など、あるいは生徒会・学級役員活動などを行い、校内外において充実した高校生活を過ごしたと認められ、高等学校長の推薦がある者で出願する年度に高等学校を卒業見込みの者  
ただし、単発的に学校内、学級内の行事に参加した活動などは除かれます。

### 〔4〕選抜方法

#### (1)書類審査

全体の評定平均値、特定科目（日本文化学科にあつては国語、英米文化学科にあつては英語）の評定平均値、校内外の活動、所有する資格等を総合的に評価します。

#### (2)小論文

試験当日、学科ごとに課題を提示します。800字程度（60分）で作成してください（英米文化学科については、論述（解答）は日本語で行いますが、課題文の一部または全文が英語となります）。

#### (3)個人面接

本人が作成した志望理由書をもとに、試験当日面接を行います。

### 〔5〕配点

- (1)書類審査（50点満点）
- (2)小論文（50点満点）
- (3)個人面接（3段階で評価）

### 〔6〕出願書類

- (1)入学願書（特別入試・併設校推薦入試用）本学所定の様式に記入し、提出してください。
- (2)調査書 高等学校長が作成し、厳封したもの。
- (3)推薦書 本学所定の様式に高等学校長が記入した推薦書で、厳封したもの。
- (4)志望理由書 入学後に本学部・本学科で学びたいこと、また、本学での学生生活および将来の展望について考えていることを志願者本人が所定の「志望理由書」用紙に800字程度で書いてください。
- (5)資格証明書 英米文化学科を志願する者で、英検2級以上、GTEC for STUDENTS 550点以上（GTEC CBT 800点以上）、ケンブリッジ英検140点以上、IELTS 4.0以上、TEAP 230点以上、TOEFL iBT 60点以上、TOEIC/TOEIC S & W 790点以上を有する者。  
英検以外の試験では、2年以内に受験したもので各種協会等が発行する証明書等が必要となります。また、写しでも可としますが、スコアが載っているインターネットの画面を印刷したものは認めません。なお、合格書あるいはスコアレポートの写しを提出する場合は、それらに誤りがないことを証明する旨の高等学校長の文書（本学所定の用紙・様式2）を添えてください。

### 〔7〕その他

- (1)本推薦入学試験において合格と認定された者が、合格通知後、高等学校卒業までに推薦要件を欠くに至った場合には、合格を取り消すことがあります。
- (2)判定結果につきましては、高等学校にお知らせします。

## ■人文学部 1部 日本文化学科・英米文化学科（指定校制）

### 〔1〕趣旨

本推薦入学試験制度は、本学部の教育理念を理解し、日本文化あるいは英米文化に関心を持ち、向学心に富んだ生徒を推薦していただく入試制度です。

### 〔2〕募集人員

日本文化学科 15名（本学が指定した高等学校から1名の推薦）  
英米文化学科 15名（本学が指定した高等学校から1名の推薦）  
※ただし、指定校からの出願数に変動があるため、実際の受け入れ人数と異なる場合があります。

**〔3〕 出願資格**

本学が指定した高等学校の生徒であって、本学部の推薦要件に該当し、高等学校長の推薦がある者。推薦要件については、指定した高等学校にお知らせします。

**〔4〕 選抜方法**

合否は書類審査と面接（本人が作成した志望理由書をもとに、試験当日個人面談を行います。）による選考のうえ判定します。ただし、著しく不相当と認められないかぎり合格とします。

**〔5〕 出願書類**

- (1) 入学願書（特別入試・併設校推薦入試用）本学所定の様式に記入し、提出すること。
- (2) 調査書 高等学校長が作成したもので、厳封したもの。
- (3) 推薦書 本学所定の様式に高等学校長が記入した推薦書で、厳封したもの。
- (4) 志望理由書  
次の2つのテーマについて所定の志望理由書に書いてください。  
記入の方法については、用紙の裏面を参照してください。  
(a) 本学部・学科を志望した理由、および入学後の抱負（400字以内）。  
(b) これまで読んだ本のうち、もっとも印象に残っているものについての感想（800字以内）。

**〔6〕 その他**

- (1) 本推薦入学試験において合格と認定された者が、合格通知後、高等学校卒業までに推薦要件を欠くに至った場合には、合格を取り消すことがあります。
- (2) 判定結果につきましては、高等学校にお知らせします。

**■工学部 社会環境工学科 社会環境コース（公募制）****〔1〕 趣 旨**

大学受験機会の多様化という時代の要請に伴い、本学工学部社会環境工学科社会環境コースでは「普通科」、「理数科」、または「総合学科」を設置する高等学校、および専門高校を対象に公募推薦入学試験を実施します。

**〔2〕 募集人員**

3名（1 高等学校から複数名の推薦可）

**〔3〕 出願資格**

高等学校の「普通科」、「理数科」、「総合学科」に在学する生徒、または『専門教育を主とする学科（「土木系」、「建設系」、「農業土木系」等の社会基盤関連学科）』に在学する生徒で、次の要件にすべて該当し、高等学校長の推薦がある者

- (1) 出願する年度に高等学校を卒業見込みの者
- (2) 高等学校の成績と単位数について
  - イ) 「普通科」、「理数科」、「総合学科」に在学する生徒  
「全体の評定平均値」が3.5以上で、かつ「数学」と「理科」に関する科目の評定の合計数を科目数で除した評定平均値（小数点以下第2位四捨五入）が3.5以上の者、ただし「数学」（「数学Ⅰ」と「数学Ⅱ」を含む）10単位以上および「理科」8単位以上を修得または修得見込みの者
  - ロ) 『専門教育を主とする学科（「土木系」、「建設系」、「農業土木系」等の社会基盤関連学科）』に在学する生徒  
「全体の評定平均値」が3.5以上で、「数学」7単位以上（「工業数理基礎」を含むことができる）および「理科」4単位以上を修得または修得見込みの者
- (3) 高等学校在学期間中、勉学や課外活動を通じて、充実した高校生活を過ごしたと認められる者

**〔4〕 選抜方法**

高等学校長が作成した推薦書、調査書、本人が作成した志望理由書の内容、小論文、および面接の結果を総合して合否を判定します。なお、面接時において、調査書等の内容についてお尋ねすることがあります。また、小論文は、特定のテーマに関して当日作成していただきます（800字程度、60分）。

**〔5〕 配 点**

- (1) 調査書による評点 (100点満点)
- (2) 小論文 (100点満点)
- (3) 面接（志望理由書含む） (120点満点)

**〔6〕 出願書類**

- (1) 入学願書（特別入試・併設校推薦入試用）  
入学願書には、「入学願書記入上の注意および記入例」を参照して、間違いなく記載事項のすべてについて記入し、写真欄に出願者の写真を貼ってください。写真は、出願前3ヵ月以内に撮影した単身、正面、上半身、無帽、背景なしで、サイズは縦3cm×横3cmのもので（カラー・白黒でも可）。
- (2) 調査書  
出願前3ヵ月以内に高等学校長が作成し、厳封したものに限りします。
- (3) 推薦書  
高等学校長が本学所定の様式に記入し、厳封したものに限りします。
- (4) 志望理由書  
本学所定の様式に社会環境工学科社会環境コースを志望する理由（600字程度）を書いて提出してください。  
出願者自筆のものに限りします。

**〔7〕 その他**

- (1) 本推薦入学試験において合格と認定された者が、合格通知後、高等学校卒業までに推薦の要件を欠くに至った場合には、合格を取り消すことがあります。
- (2) 判定結果につきましては、高等学校にお知らせします。

## ■工学部 社会環境工学科 環境情報コース (公募制)

### (1) 趣 旨

大学受験機会の多様化という時代の要請に伴い、本学工学部社会環境工学科環境情報コースでは「普通科」、「理数科」、または「総合学科」を設置する高等学校、および専門高校を対象に公募推薦入学試験を実施します。

### (2) 募集人員

3名 (1 高等学校から複数名の推薦可)

### (3) 出願資格

高等学校の「普通科」、「理数科」、「総合学科」に在学する生徒、または『専門教育を主とする学科』に在学する生徒で、次の要件にすべて該当し、高等学校長の推薦がある者

- (1) 出願する年度に高等学校を卒業見込みの者
- (2) 高等学校の成績と単位数について
  - イ) 「普通科」、「理数科」、「総合学科」に在学する生徒  
「全体の評定平均値」が3.5以上で、かつ「数学」と「理科」に関する科目の評定の合計数を科目数で除した評定平均値 (小数点以下第2位四捨五入) が3.5以上の者、ただし「数学」(「数学Ⅰ」と「数学Ⅱ」を含む) 10単位以上および「理科」8単位以上を修得または修得見込みの者
  - ロ) 『専門教育を主とする学科』に在学する生徒  
「全体の評定平均値」が3.5以上で、「数学」7単位以上(「工業数理基礎」を含むことができる) および「理科」4単位以上を修得または修得見込みの者
- (3) 高等学校在学期間中、勉学や課外活動を通じて、充実した高校生活を過ごしたと認められる者

### (4) 選抜方法

高等学校長が作成した推薦書、調査書、本人が作成した志望理由書の内容、小論文、および面接の結果を総合して合否を判定します。なお、面接時において、調査書等の内容についてお尋ねすることがあります。また、小論文は、特定のテーマに関して当日作成していただきます(800字程度、60分)。

### (5) 配 点

- (1) 調査書による評点 (100点満点)
- (2) 小論文 (100点満点)
- (3) 面接(志望理由書含む) (120点満点)

### (6) 出願書類

- (1) 入学願書(特別入試・併設校推薦入試用)  
入学願書には、「入学願書記入上の注意および記入例」を参照して、間違いなく記載事項のすべてについて記入し、写真欄に出願者の写真を貼ってください。写真は、出願前3ヵ月以内に撮影した単身、正面、上半身、無帽、背景なしで、サイズは縦3cm×横3cmのもので(カラー・白黒でも可)。
- (2) 調査書  
出願前3ヵ月以内に高等学校長が作成し、厳封したものに限りま。
- (3) 推薦書  
高等学校長が本学所定の様式に記入し、厳封したものに限りま。
- (4) 志望理由書  
本学所定の様式に社会環境工学科環境情報コースを志望する理由(600字程度)を書いて提出してください。出願者自筆のものに限りま。

### (7) その他

- (1) 本推薦入学試験において合格と認定された者が、合格通知後、高等学校卒業までに推薦の要件を欠くに至った場合には、合格を取り消すことがあります。
- (2) 判定結果につきましては、高等学校にお知らせします。

## ■工学部 電子情報工学科 (公募制)

### (1) 趣 旨

受験機会の多様化、人材の育成といった時代の要請に応えるべく、「普通科」、「理数科」、「総合学科」や「電気科」、「電子科」、「情報技術科」などの『専門教育を主とする学科』において優秀な成績を修め、「数学」や「理科」に強い興味を持ち、大学において高度な教育を受けたいという生徒を積極的に受け入れるため、本推薦入学試験を行います。

### (2) 募集人員

4名(「普通科」、「理数科」、「総合学科」) 各学科から複数名の推薦可  
2名(「電気科」、「電子科」、「情報技術科」などの『専門教育を主とする学科』) 各学科から複数名の推薦可

### (3) 出願資格

高等学校の「普通科」、「理数科」、「総合学科」に在学する生徒、または、『専門教育を主とする学科(「電気科」、「電子科」、「情報技術科」など)』に在学する生徒で、次の要件にすべて該当し、高等学校長の推薦がある者

- (1) 出願する年度に高等学校を卒業見込みの者
- (2) 高等学校において、「数学」と「理科」の教科に関して、次に定める単位を修得または修得見込みの者  
「数学」: 9単位以上(『専門教育を主とする学科』の場合、「工業数理基礎」を含むことができる)  
「理科」: 5単位以上(「物理基礎」または「理数物理」を含む)
- (3) 高等学校の成績が優秀な者で「全体の評定平均値」が3.5以上で、かつ、
  - イ) 「普通科」、「理数科」または「総合学科」の場合、「数学」と「理科」のそれぞれの評定平均値が3.7以上の者
  - ロ) 『専門教育を主とする学科』の場合、「専門教育に関する教科」の評定平均値が3.7以上の者
- (4) 課外活動、社会活動などにおいて積極的かつ主体的に行動し、充実した高校生活を過ごしたと認められる者



なお、要件(4)については、次の点を目安に推薦してください。

- ①「活動」には、校内においては、生徒会活動、学級役員活動、部活動、校外においては、ボランティア活動や体育活動、文化・文芸・技術活動などが含まれます。
- ②「積極的かつ主体的な活動」とは、継続的に活動し、その「活動」で中心的な役割を果たしたことや、相当な成果をあげたことなどが目安になります。

#### 〔4〕選抜方法

高等学校長が作成した推薦書、調査書、本人が作成した志望理由書の内容、小論文、および面接の結果を総合して合否を判定します。なお、小論文は、エレクトロニクス技術、IT技術、もしくは近年の科学技術に関する文章を当日読んで作成していただきます(60分)。

#### 〔5〕配点

- (1) 調査書による評点 (100点満点)
- (2) 小論文 (100点満点)
- (3) 面接(志望理由書含む) (120点満点)

#### 〔6〕出願書類

- (1) 入学願書(特別入試・併設校推薦入試用)  
入学願書には、「入学願書記入上の注意および記入例」を参照して、間違いなく記載事項のすべてについて記入し、写真欄に出願者の写真を貼ってください。写真は、出願前3ヵ月以内に撮影した単身、正面、上半身、無帽、背景なしで、サイズは縦3cm×横3cmのもので(カラー・白黒でも可)。
- (2) 調査書  
出願前3ヵ月以内に高等学校長が作成し、厳封したものに限りします。
- (3) 推薦書  
高等学校長が本学所定の様式に記入し、厳封したものに限りします。
- (4) 志望理由書  
本学所定の様式に電子情報工学科を志望する理由(600字程度)を書いて提出してください。出願者自筆のものに限りします。

#### 〔7〕その他

- (1) 本推薦入学試験において合格と認定された者が、合格通知後、高等学校卒業までに推薦の要件を欠くに至った場合には、合格を取り消すことがあります。
- (2) 判定結果につきましては、高等学校にお知らせします。

### ■工学部 生命工学科(公募制)

#### 〔1〕趣旨

受験機会の多様化、人材の育成といった時代の要請に応えるべく、「普通科」、「理数科」、「総合学科」や『専門教育を主とする学科』に学ぶ生徒で、「数学」や「理科」に強い興味を持ち、大学において高度な教育を受けたいという生徒を積極的に受け入れるため、本推薦入学試験を行います。

#### 〔2〕募集人員

4名(1高等学校から複数名の推薦可)

#### 〔3〕出願資格

高等学校の「普通科」、「理数科」、「総合学科」に在学する生徒、または『専門教育を主とする学科』に在学する生徒で、次の要件にすべて該当し、高等学校長の推薦がある者

- (1) 出願する年度に高等学校を卒業見込みの者
- (2) 高等学校において、「数学」と「理科」の教科に関して、次に定める単位を修得または修得見込みの者  
「数学」：9単位以上(『専門教育を主とする学科』の場合、「工業数理基礎」を含むことができる)  
「理科」：5単位以上
- (3) 高等学校の成績が優秀な者で、「全体の評定平均値」が3.5以上で、かつ、  
イ)「普通科」、「理数科」、または「総合学科」の場合、「数学」と「理科」のそれぞれの評定平均値が3.5以上の者  
ロ)『専門教育を主とする学科』の場合、「専門教育に関する教科」の評定平均値が3.5以上の者
- (4) 高等学校在学期間を通して、課外活動、社会活動などにおいて積極的かつ主体的に行動し、充実した高校生活を過ごしたと認められる者

なお、要件(4)については、次の点を目安に推薦してください。

- ①「活動」には、校内においては、生徒会活動、学級役員活動、部活動、校外においては、ボランティア活動や体育活動、文化・文芸・技術活動などが含まれます。
- ②「積極的かつ主体的な活動」とは、継続的に活動し、その「活動」で中心的な役割を果たしたことや、相当な成果をあげたことなどが目安になります。

#### 〔4〕選抜方法

高等学校長が作成した推薦書、調査書、本人が作成した志望理由書の内容、小論文、および面接の結果を総合して合否を判定します。なお、小論文は、特定のテーマに関して当日作成していただきます(800字程度、60分)。

#### 〔5〕配点

- (1) 調査書による評点 (100点満点)
- (2) 小論文 (100点満点)
- (3) 面接(志望理由書含む) (120点満点)

#### 〔6〕出願書類

- (1) 入学願書(特別入試・併設校推薦入試用)

入学願書には、「入学願書記入上の注意および記入例」を参照して、間違いなく記載事項のすべてについて記入し、写真欄に出願者の写真を貼ってください。写真は、出願前3ヵ月以内に撮影した単身、正面、上半身、無帽、背景なしで、サイズは縦3cm×横3cmのもので（カラー・白黒でも可）。

- (2) 調査書  
出願前3ヵ月以内に高等学校長が作成し、厳封したものに限りします。
- (3) 推薦書  
高等学校長が本学所定の様式に記入し、厳封したものに限りします。
- (4) 志望理由書  
本学所定の様式に生命工学科を志望する理由（1,000字程度）を書いて提出してください。出願者自筆のものに限りします。

## 〔7〕その他

- (1) 本推薦入学試験において合格と認定された者が、合格通知後、高等学校卒業までに推薦の要件を欠くに至った場合には、合格を取り消すことがあります。
- (2) 判定結果につきましては、高等学校にお知らせします。
- (3) 合格者には、入学までの期間にプレ教育を実施することがあります。

## ■工学部 社会環境工学科 社会環境コース（指定校制）

### 〔1〕趣 旨

大学受験機会の多様化という時代の要請に伴い、本学工学部社会環境工学科社会環境コースでは「普通科」、「理数科」または「総合学科」を設置する高等学校、および専門高校を対象に指定校推薦入学試験を実施します。本指定校推薦制度は本学科の指定する高等学校から、充実した高校生活を送り本学の社会環境コースに興味を持つ生徒を推薦していただくものです。

### 〔2〕募集人員

9名（本学が指定した高等学校から社会環境コースと環境情報コースを合わせて3名以下の推薦）  
ただし、指定校からの出願数に変動がありますので、実際の受入数はこれと異なることがあります。また、4名以上の希望者がいる場合は公募推薦を併用してください。

### 〔3〕出願資格

高等学校の「普通科」、「理数科」、「総合学科」に在学する生徒、または『専門教育を主とする学科（「土木系」、「建設系」、「農業土木系」等の社会基盤関連学科）』に在学する生徒で、次の要件にすべて該当し、高等学校長の推薦がある者

- (1) 出願する年度に高等学校を卒業見込みの者
- (2) 高等学校の成績と単位数について
  - イ) 「普通科」、「理数科」、「総合学科」に在学する生徒  
「全体の評定平均値」が3.5以上で、かつ「数学」と「理科」に関する科目の評定の合計数を科目数で除した評定平均値（小数点以下第2位四捨五入）が3.5以上の者、ただし「数学」（「数学Ⅰ」と「数学Ⅱ」を含む）10単位以上および「理科」8単位以上を修得または修得見込みの者
  - ロ) 『専門教育を主とする学科（「土木系」、「建設系」、「農業土木系」等の社会基盤関連学科）』に在学する生徒  
「全体の評定平均値」が3.5以上で、「数学」7単位以上（「工業数理基礎」を含むことができる）および「理科」4単位以上を修得または修得見込みの者
- (3) 高等学校在学期間中、勉学や課外活動を通じて、充実した高校生活を過ごしたと認められる者

### 〔4〕選抜方法

高等学校長が作成した推薦書、調査書、本人が作成した志望理由書、および面接の結果を総合して可否を判定します。なお、面接時において、調査書等の内容についてお尋ねすることがあります。

### 〔5〕出願書類

- (1) 入学願書（特別入試・併設校推薦入試用）  
入学願書には、「入学願書記入上の注意および記入例」を参照して、間違いなく記載事項のすべてについて記入し、写真欄に出願者の写真を貼ってください。写真は、出願前3ヵ月以内に撮影した単身、正面、上半身、無帽、背景なしで、サイズは縦3cm×横3cmのもので（カラー・白黒でも可）。
- (2) 調査書  
出願前3ヵ月以内に高等学校長が作成し、厳封したものに限りします。
- (3) 推薦書  
高等学校長が本学所定の様式に記入し、厳封したものに限りします。
- (4) 志望理由書  
本学所定の様式に社会環境工学科社会環境コースを志望する理由（1,000字程度）を書いて提出してください。出願者自筆のものに限りします。

### 〔6〕推薦依頼のとりやめ、指定校の見直し

- (1) 合格と認定された者が入学手続をしないか入学を辞退した場合、または入学後退学するなど入学辞退に準ずる場合は、次年度の推薦依頼をとりやめることがあります。
- (2) 3年続けて本制度による入学者がいない場合は、指定校見直しの対象とすることがあります。
- (3) 詳細については、指定校宛てに通知いたします。

### 〔7〕その他

- (1) 本推薦入学試験において合格と認定された者が、合格通知後、高等学校卒業までに推薦の要件を欠くに至った場合には、入学を辞退していただくことがあります。
- (2) 判定結果につきましては、高等学校にお知らせします。

## ■工学部 社会環境工学科 環境情報コース (指定校制)

### (1) 趣 旨

大学受験機会の多様化という時代の要請に伴い、本学工学部社会環境工学科環境情報コースでは「普通科」、「理数科」または「総合学科」を設置する高等学校、および専門高校を対象に指定校推薦入学試験を実施します。本指定校推薦制度は本学科の指定する高等学校から、充実した高校生活を送り本学の環境情報コースに興味を持つ生徒を推薦していただくものです。

### (2) 募集人員

5名(本学が指定した高等学校から環境情報コースと社会環境コースを合わせて3名以下の推薦)

ただし、指定校からの出願数に変動がありますので、実際の受入数はこれと異なることがあります。また、4名以上の希望者がいる場合は公募推薦を併用してください。

### (3) 出願資格

高等学校の「普通科」、「理数科」、「総合学科」に在学する生徒、または『専門教育を主とする学科』に在学する生徒で、次の要件にすべて該当し、高等学校長の推薦がある者

(1) 出願する年度に高等学校を卒業見込みの者

(2) 高等学校の成績と単位数について

イ) 「普通科」、「理数科」、「総合学科」に在学する生徒

「全体の評定平均値」が3.5以上で、かつ「数学」と「理科」に関する科目の評定の合計数を科目数で除した評定平均値(小数点以下第2位四捨五入)が3.5以上の者、ただし「数学」(「数学Ⅰ」と「数学Ⅱ」を含む)10単位以上および「理科」8単位以上を修得または修得見込みの者

ロ) 『専門教育を主とする学科』に在学する生徒

「全体の評定平均値」が3.5以上で、「数学」7単位以上(「工業数理基礎」を含むことができる)および「理科」4単位以上を修得または修得見込みの者

(3) 高等学校在学期間中、勉学や課外活動を通じて、充実した高校生活を過ごしたと認められる者

### (4) 選抜方法

高等学校長が作成した推薦書、調査書、本人が作成した志望理由書、および面接の結果を総合して可否を判定します。なお、面接時において、調査書等の内容についてお尋ねすることがあります。

### (5) 出願書類

(1) 入学願書(特別入試・併設校推薦入試用)

入学願書には、「入学願書記入上の注意および記入例」を参照して、間違いなく記載事項のすべてについて記入し、写真欄に出願者の写真を貼ってください。写真は、出願前3ヵ月以内に撮影した単身、正面、上半身、無帽、背景なしで、サイズは縦3cm×横3cmのもので(カラー・白黒でも可)。

(2) 調査書

出願前3ヵ月以内に高等学校長が作成し、厳封したものに限りします。

(3) 推薦書

高等学校長が本学所定の様式に記入し、厳封したものに限りします。

(4) 志望理由書

本学所定の様式に社会環境工学科環境情報コースを志望する理由(1,000字程度)を書いて提出してください。

出願者自筆のものに限りします。

### (6) 推薦依頼のとりやめ、指定校の見直し

(1) 合格と認定された者が入学手続をしないか入学を辞退した場合、または入学後退学するなど入学辞退に準ずる場合は、次年度の推薦依頼をとりやめることがあります。

(2) 3年続けて本制度による入学者がいない場合は、指定校見直しの対象とすることがあります。

(3) 詳細については、指定校宛てに通知いたします。

### (7) その他

(1) 本推薦入学試験において合格と認定された者が、合格通知後、高等学校卒業までに推薦の要件を欠くに至った場合には、入学を辞退していただくことがあります。

(2) 判定結果につきましては、高等学校にお知らせします。

## ■工学部 建築学科 (指定校制)

### (1) 趣 旨

大学受験機会の多様化という時代の要請に伴い、入試における学力偏重の弊害を改め、多様な能力と豊かな個性を持つ生徒を選抜して大学教育の活性化を図ることが求められています。

本学工学部建築学科では、学業と課外活動の両面で充実した高校生活を過ごし、かつ建築に興味をもち、大学においても同様に充実した学生生活を送ることが期待できる生徒を積極的に受け入れるため、指定校推薦入学試験を行います。

### (2) 募集人員

29名(本学が指定した高等学校から指定した人数の推薦)

ただし、指定校からの出願数に変動がありますので、実際の受入数はこれと異なることがあります。

### (3) 出願資格

高等学校の「普通科」、「理数科」、「総合学科」に在学する生徒、または『専門教育を主とする学科(「建築科」、「建設科」)』に在学する生徒で、次の要件にすべて該当し、高等学校長の推薦がある者

(1) 本学工学部建築学科への入学を希望する者で、出願する年度に高等学校を卒業する見込みの者

(2) 「全体の評定平均値」が3.5以上の者

(3) 高等学校在学期間を通して、積極的かつ主体的に体育活動、文化・文芸・技術活動あるいは生徒会活動などを行い、充実した高校生活を過ごしたと認められる者

なお、(3)の「活動」とは、校内および校外での活動をさします。次の点を目安にしてください。

- ①校内の活動では部活動、生徒会活動および学級の役員活動が対象となります。いずれの場合も、その活動をもり立てたこと、あるいはその活動から相当の成果をあげたと認められることが目安となります。
- ②校外の活動ではボランティア活動や体育活動、文化・文芸・技術活動等が対象となります。ボランティア活動については、その内容と社会的な貢献度が総合的に評価できると認められること、体育活動、文化・文芸・技術活動等については、相当の成果をあげたと認められることが目安となります。

#### 〔4〕選抜方法

書類審査と面接による選考のうえ判定します（不合格と判定した場合には、その理由を高等学校に通知・説明します）。

#### 〔5〕出願書類

- (1) 入学願書（特別入試・併設校推薦入試用）  
入学願書には、「入学願書記入上の注意および記入例」を参照して、間違いなく記載事項のすべてについて記入し、写真欄に出願者の写真を貼ってください。写真は、出願前3ヵ月以内に撮影した単身、正面、上半身、無帽、背景なしで、サイズは縦3cm×横3cmのもので（カラー・白黒でも可）。
- (2) 調査書  
出願前3ヵ月以内に高等学校長が作成し、厳封したものに限りします。
- (3) 推薦書  
高等学校長が本学所定の様式に記入し、厳封したものに限りします。
- (4) 本人の作成した作文（事前提出作文）  
出願にあたって、他の書類とともに、出願者の作成した作文の提出を求めます。  
この作文は、巻末の指定原稿用紙を用いて1,200字程度で作成してください。テーマは「私の高校生活と大学生活への抱負」です。

#### 〔6〕推薦依頼のとりやめ、指定校の見直し

- (1) 合格と認定された者が入学手続きをしないか入学を辞退した場合、または入学後退学するなど入学辞退に準ずる場合は、次年度の推薦依頼をとりやめることがあります。
- (2) 3年続けて本制度による入学者がいらない場合は、指定校見直しの対象とすることがあります。
- (3) 詳細については、指定校宛てに通知いたします。

#### 〔7〕その他

- (1) 本推薦入学試験において合格と認定された者が、合格通知後、高等学校卒業までに出願資格の要件を欠くに至った場合には、入学を辞退していただくことがあります。
- (2) 判定結果につきましては、高等学校にお知らせします。

### ■工学部 電子情報工学科（指定校制）

#### 〔1〕趣 旨

受験機会の多様化、人材の育成といった時代の要請に応えるべく、「普通科」、「理数科」、「総合学科」や「電気科」、「電子科」、「情報技術科」などの『専門教育を主とする学科』において優秀な成績を修め、「数学」や「理科」に強い興味を持ち、大学において高度な教育を受けたいという生徒を積極的に受け入れるため、本推薦入学試験を行います。

#### 〔2〕募集人員

10名（本学が指定した高等学校から2名以内の推薦可）  
ただし、指定校からの出願数に変動がありますので、実際の受入数はこれと異なることがあります。

#### 〔3〕出願資格

高等学校の「普通科」、「理数科」、「総合学科」に在学する生徒、または『専門教育を主とする学科（「電気科」、「電子科」、「情報技術科」など）』に在学する生徒で、次の要件にすべて該当し、高等学校長の推薦がある者

- (1) 出願する年度に高等学校を卒業する見込みの者
- (2) 高等学校において、「数学」と「理科」の教科に関して、次に定める単位を修得または修得見込みの者  
「数学」：9単位以上（『専門教育を主とする学科』の場合、「工業数理基礎」を含むことができる）  
「理科」：5単位以上（「物理基礎」または「理数物理」を含む）
- (3) 高等学校の成績が優秀な者で、「全体の評定平均値」3.5以上でかつ、  
イ）「普通科」、「理数科」または「総合学科」の場合、「数学」と「理科」のそれぞれの評定平均値が3.7以上の者  
ロ）『専門教育を主とする学科』の場合、「専門教育に関する教科」の評定平均値が3.7以上の者
- (4) 課外活動、社会活動などにおいて積極的かつ主体的に行動し、充実した高校生活を過ごしたと認められる者

なお、要件(4)については、次の点を目安に推薦してください。

- ①「活動」には、校内においては、生徒会活動、学級役員活動、部活動、校外においては、ボランティア活動や体育活動、文化・文芸・技術活動などが含まれます。
- ②「積極的かつ主体的な活動」とは、継続的に活動し、その「活動」で中心的な役割を果たしたことや、相当な成果をあげたことなどが目安になります。

#### 〔4〕選抜方法

高等学校長が作成した推薦書、調査書、本人が作成した志望理由書の内容、および面接の結果を総合して可否を判定します。

#### 〔5〕出願書類

- (1) 入学願書（特別入試・併設校推薦入試用）  
入学願書には、「入学願書記入上の注意および記入例」を参照して、間違いなく記載事項のすべてについて記入し、写真欄に出願者の写真を貼ってください。写真は、出願前3ヵ月以内に撮影した単身、正面、上半身、無帽、背景なしで、サイズは縦3cm×横3cmのもので（カラー・白黒でも可）。
- (2) 調査書  
出願前3ヵ月以内に高等学校長が作成し、厳封したものに限りします。

- (3) 推薦書  
高等学校長が本学所定の様式に記入し、厳封したものに限りま
- (4) 志望理由書  
本学所定の様式に電子情報工学科を志望する理由（600字程度）を書いて提出してください。出願者自筆のものに限りま

#### 〔6〕推薦依頼のとりやめ、指定校の見直し

- (1) 合格と認定された者が入学手続をしないか入学を辞退した場合、または入学後退学するなど入学辞退に準ずる場合は、次年度の推薦依頼をとりやめることがあります。
- (2) 3年続けて本制度による入学者がいない場合は、指定校見直しの対象とすることがあります。
- (3) 詳細については、指定校宛てに通知いたします。

#### 〔7〕その他

- (1) 本推薦入学試験において合格と認定された者が、合格通知後、高等学校卒業までに推薦の要件を欠くに至った場合には、入学を辞退していただくことがあります。
- (2) 判定結果につきましては、高等学校にお知らせします。

## ■工学部 生命工学科（指定校制）

### 〔1〕趣 旨

受験機会の多様化、人材の育成といった時代の要請に応えるべく、「普通科」、「理数科」、「総合学科」や『専門教育を主とする学科』に学ぶ生徒で、「数学」や「理科」に強い興味を持ち、大学において高度な教育を受けたいという生徒を積極的に受け入れるため、本推薦入学試験を行います。

### 〔2〕募集人員

16名（本学が指定した高等学校から複数名の推薦可）  
ただし、指定校からの出願数に変動がありますので、実際の受入数はこれと異なることがあります。

### 〔3〕出願資格

高等学校の「普通科」、「理数科」、「総合学科」に在学する生徒、または『専門教育を主とする学科』に在学する生徒で、次の要件にすべて該当し、高等学校長の推薦がある者

- (1) 出願する年度に高等学校を卒業見込みの者
- (2) 高等学校において、「数学」と「理科」の教科に関して、次に定める単位を修得または修得見込みの者  
「数学」：9単位以上（『専門教育を主とする学科』の場合、「工業数理基礎」を含むことができる）  
「理科」：5単位以上
- (3) 高等学校の成績が優秀な者で、「全体の評定平均値」3.5以上で、かつ、  
イ）「普通科」、「理数科」、または「総合学科」の場合、「数学」と「理科」のそれぞれの評定平均値が3.5以上の者  
ロ）『専門教育を主とする学科』の場合、「専門教育に関する教科」の評定平均値が3.5以上の者
- (4) 高等学校在学期間を通して、課外活動、社会活動などにおいて積極的かつ主体的に行動し、充実した高校生活を過ごしたと認められる者

なお、要件（4）については、次の点を目安に推薦してください。

- ①「活動」には、校内においては、生徒会活動、学級役員活動、部活動、校外においては、ボランティア活動や体育活動、文化・文芸・技術活動などが含まれます。
- ②「積極的かつ主体的な活動」とは、継続的に活動し、その「活動」で中心的な役割を果たしたことや、相当な成果をあげたことなどが目安になります。

### 〔4〕選抜方法

高等学校長が作成した推薦書、調査書、本人が作成した志望理由書の内容、および面接の結果を総合して合否を判定します。

### 〔5〕出願書類

- (1) 入学願書（特別入試・併設校推薦入試用）  
入学願書には、「入学願書記入上の注意および記入例」を参照して、間違いなく記載事項のすべてについて記入し、写真欄に出願者の写真を貼ってください。写真は、出願前3ヵ月以内に撮影した単身、正面、上半身、無帽、背景なしで、サイズは縦3cm×横3cmのもので（カラー・白黒でも可）。
- (2) 調査書  
出願前3ヵ月以内に高等学校長が作成し、厳封したものに限りま
- (3) 推薦書  
高等学校長が本学所定の様式に記入し、厳封したものに限りま
- (4) 志望理由書  
本学所定の様式に生命工学科を志望する理由（1,000字程度）を書いて提出してください。出願者自筆のものに限りま

### 〔6〕推薦依頼のとりやめ、指定校の見直し

- (1) 合格と認定された者が入学手続をしないか入学を辞退した場合、または入学後退学するなど入学辞退に準ずる場合は、次年度の推薦依頼をとりやめることがあります。
- (2) 3年続けて本制度による入学者がいない場合は、指定校見直しの対象とすることがあります。
- (3) 本推薦入学試験において入学した者の成績が芳しくない場合、指定校の見直しをする場合があります。
- (4) 詳細については、指定校宛てに通知いたします。

### 〔7〕その他

- (1) 本推薦入学試験において合格と認定された者が、合格通知後、高等学校卒業までに推薦の要件を欠くに至った場合には、入学を辞退していただくことがあります。
- (2) 判定結果につきましては、高等学校にお知らせします。
- (3) 合格者は、入学までの期間にプレ教育を実施することがあります。